

全国都市再生モデル調査概要様式

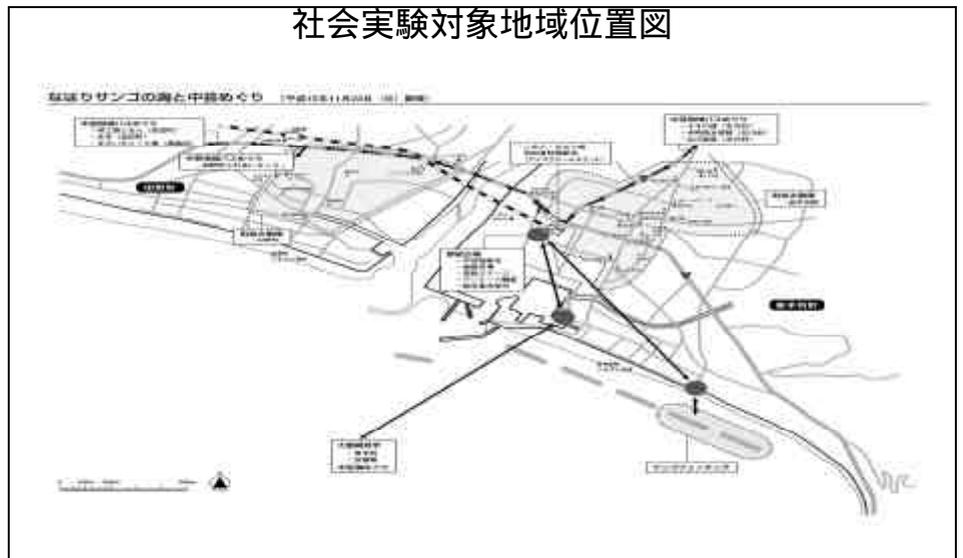
枚数は任意（４枚以下）。

記述方法の詳細や具体例については、別紙の「記載要領」を参照。

1．応募団体名	奈半利町、高知県 担当：柏木 雄太（奈半利町）、北村 公一（高知県港湾課） 連絡先：0887-38-4011(奈半利町)、088-823-9884（高知県）
2．調査名	高知県東部における海辺を活かした交流空間形成推進調査
3．推薦団体名	
4．調査の対象地域	
(1) 対象となる行政 区域名、地区名等	高知県安芸郡奈半利町
(2) 対象となる行政 区域及び地区の特 徴	奈半利町人口 4,070人 " 世帯数 1,772
5．提案した活動の内容	
(1) テーマ、課題	海辺の資源を活用したな奈半利町及びその周辺市町村との連携した広域観光ル - ト形成及び観光客増大により、必要となる交流空間の形成とそれと連動したまちづくりの推進
(2) 本調査費による 活動内容の概要	<p>本調査費により行われた活動内容の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワ - クショップ 計5回開催（15年10月～） 参加者 平均約20人 ・海辺を活かした地域振興検討協議会 2回開催（16年2月～） 委員：学識経験者等20名 ・社会実験（15年11月23日実施） 奈半利及び近隣町村においてサンゴウォッチング・大敷網体験・周回バスめぐり・町並み散策などを実施

参加者のべ約2,000名

アンケートに533名から回答



本調査以外の財源を投じたり、あるいは経費をかけずに、本調査の一環として行った活動内容の概要

1. イベントスタッフ公募を実施
(15年11月)
2. 町の掲示板にイベント内容を掲示
(15年11月)
3. 近隣町村を訪問し、事業概要説明・PRを実施
(15年11月)

<p>6．本調査と関連する活動実績</p>	<p>1．住民団体によるサンゴ鑑賞船の定期運航 (14年10月～)</p> <p>2．住民団体による町並み散策ガイドを実施 各イベント開催時にも実施 (14年7月～)</p>
<p>7．本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など</p>	<p>本調査の実施により、住民と行政との協働のもと、海辺・周辺市町村観光資源を活用した奈半利町及び周辺市町村との連携した広域観光ル－トが示され、ごめん・なはり線との連携により、観光客増大の効果がみられた。また、調査結果により、継続性の可能性を模索することができた。</p> <p>一方で、アンケート結果により、採算性やソフト・ハード両面の整備、取り組みの連携、中心組織の位置付けなどが課題であることがわかった。事業の推進に関しては、調査成果を踏まえたうえで、中心組織を構え、各部門別に既存の関連団体や周辺市町村と連携を図り、今後更なる検討を重ねていく。</p>